

教えて
ドクター

早期発見ならよりよい経過に 40代～50代は定期的に検診を

大阪プレストクリニック
院長
芝 英一先生



1977年、大阪大学医学部卒業。
アメリカ・ハーバード大学医学部
留学、大阪大学医学部腫瘍外科
助教授を経て、2005年に大阪
プレストクリニックを開業。
日本乳癌学会認定専門医

10月は、ピンクリボン運動が活発になる乳がん月間。この機会に、日本女性の16人に1人はかかる可能性があるという乳がん(※)について考えてみませんか。大阪プレストクリニックの芝英一先生に、検診について聞いてみました。※国立がん研究センターがん対策情報センターによる。

増える罹患者・死亡者数 まだまだ低い検診受診率

生活スタイルの欧米 ながら大阪府はその全国化・晩婚化などにより、平均を大きく下回っている。日本の乳がん罹患者数・死亡者数は今後も増加が

予測されています。乳がんの多くは体表に

検診受診率が上がれば、早期治療で死亡率の低下が見込めるのですが、日本の受診率はまだまだ低いのが現状。残念

り、必要に応じて詳しい検査を行います。がんと診断されるのは、その中の約5%ですので、精密検査Ⅱがんと決めつけず、すみやかに診察を受けましょう。

また、そこで発見されるがんは、乳管がんがとどまっている「非浸潤がん」や、しこりが2cm以下でリンパ節への転移がないステージⅠの早期がんがほとんど。乳房を温存する治療も可能で、ステージⅠの治療後の10年生存率は85%～90%です。早期に発見すれば、よい経過をたどることができるといえます。

毎年の検診を目標に

乳がんは、出産・授乳経験がない人、初産年齢が高い人、乳がんになったことのある家族がいる人などに、多く発症する傾向が見られます。大阪でも乳がん検診を実施していますが(別項参照)、授乳経験の有無や、乳腺の状態によって、適した検査も異なるため、40代・50代前半なら、見落としを防ぐ上で、マンモグラフィと超

診していただき、結果、重症化していたという例もあります。臆することなく、定期的に受診してください。

大阪市の乳がん検診について

【費用】

30歳代の女性1000円＝視触診・超音波検査

40歳以上の女性(平成24年度は明治・大正・昭和の奇数年生まれの人)1500円＝視触診・マンモグラフィ。また、がん検診推進事業として、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳時には、マンモグラフィの無料クーポンを利用可能

【受診できる施設】

大阪府が指定する乳がん検診取扱医療機関、大阪市の各区保健福祉センター。※詳細はホームページを

【予約】

事前予約要。年度末は、混み合っていて希望日時に受診できないことも。早めに予約を